



成城大学  
国際編集文献学研究センター  
Research Center for Textual Scholarship  
Seijo University

# 第1回 セミナー 第2回 シンポジウム

2022年10月22日 (土)

会場：成城大学 9号館 グローバルラウンジ  
定員：各50名 (事前申し込みが必要です)

11:00~12:30

## セミナー

### ミュージル『特性のない男』の編集をめぐって

- ・ 遺稿編集の歴史と現状 北島玲子 (上智大学名誉教授)\*
- ・ 読みやすさと学問性の両立は可能か 桂元嗣 (武蔵大学人文学部教授)

モデレーター：明星聖子 (成城大学文芸学部教授)\*\*

14:00~16:00

## シンポジウム

### ダンテ『神曲』「地獄篇 第五歌」 フランチェスカの愛の歌をめぐって—新たな校訂版テキストをもとに

原基晶 (東海大学文化社会学部准教授)\*

コメンテーター：伊藤博明 (専修大学文学部教授)\*

松田隆美 (慶應義塾大学文学部教授)\*

井出新 (慶應義塾大学文学部教授)\*

モデレーター：明星聖子 (成城大学文芸学部教授)\*\*

\* 成城大学国際編集文献学研究センター 特別客員研究員

\*\* 成城大学国際編集文献学研究センター センター長

■参加費：無料

■参加申し込み：

10月17日(月)までに下記URLまたはQRコードから

Googleフォームにてお申し込みください。

<https://forms.gle/TKdj4hgRNoWp61EF9>

■問い合わせ：

成城大学国際編集文献学研究センター事務局

E-Mail：ts-office@seijo.ac.jp



主催：成城大学国際編集文献学研究センター

◆令和4年度 科学研究費補助金 基盤研究 (A)

「第三世代としての編集—古典の再生と文学研究の活性化をめざす編集文献学的研究」 (研究代表者：明星聖子) による事業

科研費  
KAKENHI

## セミナー

2016年に始まった書籍による新版ムージル全集（ファンタ版）の刊行、それと連動すべく開始されたムージル・オンラインの作成によって、『特性のない男』の編集は新たな展開をみせている。『特性のない男』の遺稿編集の歴史と現状を確認したうえで（北島）、ファンタ版『特性のない男』の草稿部分をいくつか取り上げ、その編集上の特徴を、クラゲンフルト版やフリゼー版と比較検討し（桂）、読みやすさと学問性の両立という問題について考える。

### 北島玲子（きたじま れいこ）

上智大学名誉教授。専門は20世紀ドイツ語圏文学。主な業績として『終わりなき省察の行方—ローベルト・ムージルの小説』（上智大学出版）『〈新しい人間の設計図〉—ドイツ文学・哲学から読む』（共著、青灯社）などがある。

### 桂元嗣（かつら もとつぐ）

武蔵大学人文学部教授。専門はドイツ文学・中欧文化論。主な業績として『中央ヨーロッパ—歴史と文学』（春風社）「構成的イロニー再考」—新版ムージル全集における『特性のない男』の編集上の問題をめぐって」（『武蔵大学人文学会雑誌』）などがある。

## シンポジウム

ダンテ『神曲』の校訂版は、1967年のジョルジョ・ペトロッキ校訂のテキストが決定的とされてきた。この版は1862年のヴィッテ版、1904年のムーワ版、1921年のヴァンデッリ版をへた研究の蓄積による到達点とされてきたのである。しかし近年は注釈者による微修正が繰り返され、新たな校訂版の必要性が訴えられてきた。そしてダンテ没後700年の2021年11月、ジョルジョ・イングレーゼ校訂の新たな国定版が出版された。この版の評価は定まっていないが、たとえば「地獄篇 第五歌」の有名なフランチェスカの「愛は」にはじまる8行にも決定的な異同がある。つまり1330年代の一部の写本以後700年近く絶えていたテキストと解釈が採用されているのである。本シンポジウムではこのことの意味を、社会的な空間と宗教との関係の変化から考えてみたい。

### 原基晶（はら もとあき）



東海大学文化社会学部准教授。専門はイタリア文学・中世ルネサンス文化。主な業績として『神曲 地獄篇』『神曲 煉獄篇』『神曲 天国篇』（講談社）『ダンテ論』（青土社）『チェーザレ 破壊の創造者』1-13（講談社）がある。

### 伊藤博明（いとう ひろあき）



専修大学文学部教授。専門はヨーロッパの思想史・芸術論。主な業績として『ヘルメスとシビュラのイコノロジー』（ありな書房）『ルネサンスの神秘思想』（講談社 学術文庫）がある。

### 松田隆美（まつだ たかみ）



慶應義塾大学文学部教授。専門は中世英文学・思想史。主な業績として『チョーサー—《カンタベリー物語》—ジャンルをめぐる冒険』（慶應義塾大学出版会）『煉獄と地獄—ヨーロッパ中世文学と一般信徒の死生観』（ぶねうま舎）がある。

### 井出新（いで あらた）



慶應義塾大学文学部教授。専門は、初期近代英文学。主な業績として『教室の英文学』（共著・研究社）『シェイクスピアと演劇文化』（共著・研究社）『大修館シェイクスピア双書・冬物語』（大修館書店、近刊）他がある。

## 会場案内

小田急線「成城学園前」駅より徒歩4分

- ・ご来場の際は、マスクの着用をお願いいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。
- ・37.5度以上の発熱がある方は、会場へのご入場をお断りさせていただきますので予めご了承ください

